

# 合言葉は「もったいない！」 みんなであげそう “ごみゼロ社会”

三重県環境生活部 廃棄物・リサイクル課





こ

み





鹿塵



花



# 江戸時代は

## “ごみゼロ都市” だった。

- 江戸時代の日本では、物を作るための資源がとても貴重だったので、**材料を徹底的にリサイクル**していました。
- だから、江戸や大阪のような大都市でも、**ごみの見当たらない清潔な暮らし**を送っていました。
- 江戸時代には、**修理業や回収業など多くの人がリサイクル**に関係ある仕事をしていました。



## 解説 お江戸の科学

### 江戸のリサイクル業

江戸社会は、古紙再生に限らず使える物は修理・再生しながら、徹底的に使い回した。ゴミまでが燃料、肥料、埋め立て用に区別され、町並みはとてきれいだっ。日本を訪れた当時の外国人達は、町の清潔さに一様に驚いたという。



#### ↑古着屋

普段着は古着が当たり前。商人の古着屋、回収業の古着買い、再生業の古着仕立屋の分業が確立していた。



← 洗濯の流れ買い  
溶けた紙を集めて再生する。

木っ端売り→  
建材や廃材の木っ端を集め薪として売ったり付け木屋に売る。



#### ↑古傘買い

壊れた傘を下取りして再生する。破れた油紙は味噌や魚の包装紙に、折れた骨は燃料にする。



← 付け木売り  
木っ端などを薄く削り、硫黄を塗って発火燃料材として売る。

↓ 空き樽買い  
使用済みの樽を回収、問屋に売って再利用する。



#### ↑ 灰買い

かまどの灰を買い集める。灰は肥料として灰市などで売られる。

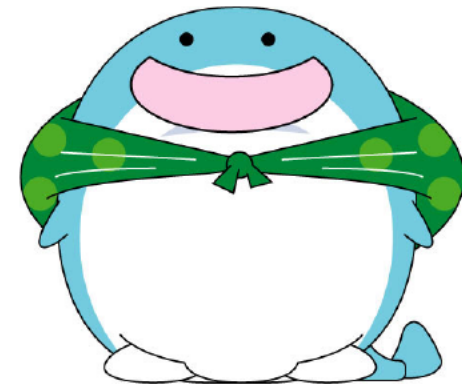


#### ↑ ほうき買い

新品と交換するが、古いシュロのほうきは、解いて縄にしたり、たわしに再生する。

## ごみゼロクイズ

Q1. 三重県では、1人が1日に  
どれくらいのごみを出している？



ゼロパパ

- A. りんご3個くらい(600g)
- B. 牛乳パック1本分くらい(1,000g)
- C. 小さいスイカ1個くらい(3,000g)



正解は

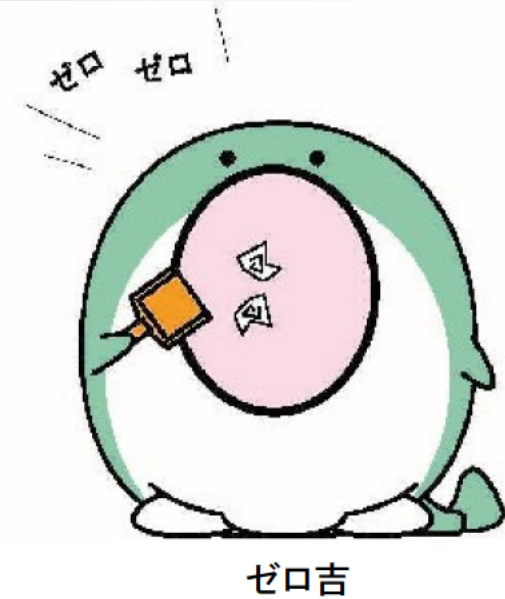
B. 牛乳パック1本分くらい(1,000g)

三重県のみなさんは、  
1ヶ月で30kgくらいのごみを  
出しているんだ。



# ごみゼロクイズ

Q2. 写真のお菓子や  
食べ物は、どこにあった  
と思いますか？



正解は

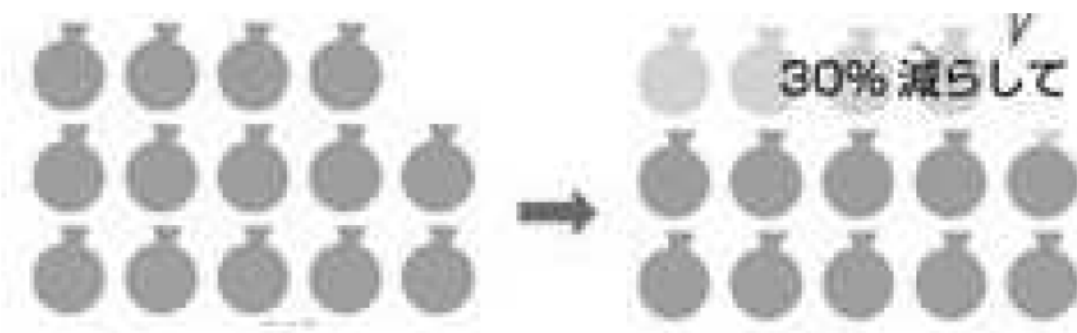
「ごみ」として、捨てられた中に入っていました。



# ごみを減らすための工夫「3R」

## リデュース【Reduce】

ごみを出さない！ごみを少なくする努力をしよう！



- 取組1: お買い物には、マイバッグ
- 取組2: ご飯を残さずに食べる
- 取組3: ごみを出さない調理の工夫



# ごみを減らすための工夫「3R」

## リユース【Reuse】

ものを大切にくり返し長く使おう！

取組1:リユースショップを利用する。

取組2:えんぴつやノートを最後

まで捨てないで使う。

取組3:余った食材で楽しくエコ

クッキング

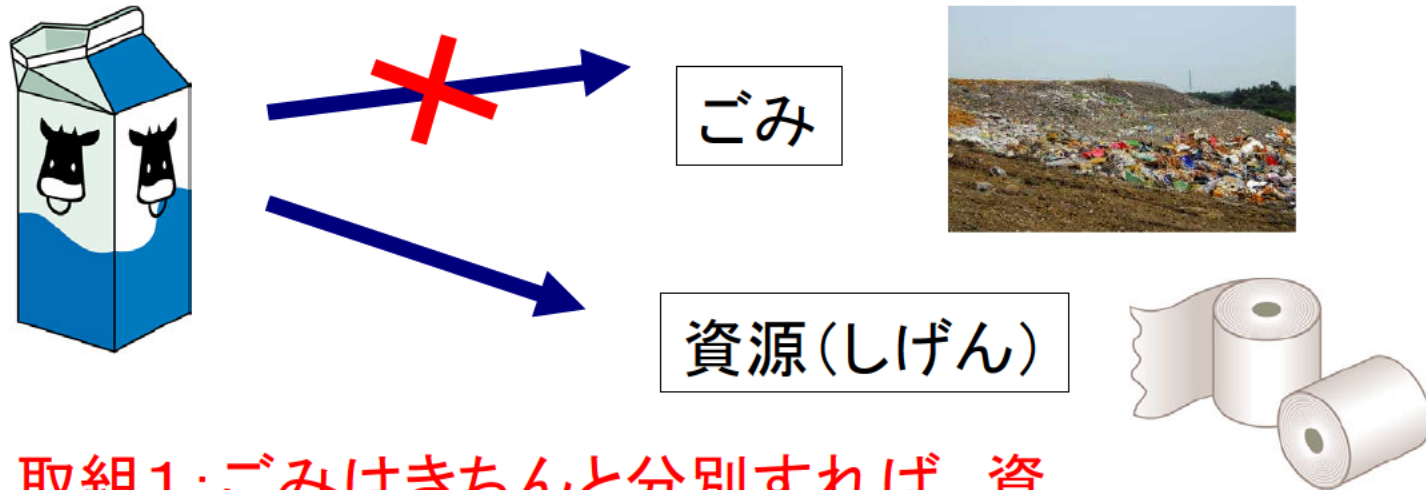


# ごみを減らすための工夫「3R」

リサイクル【Recycle】



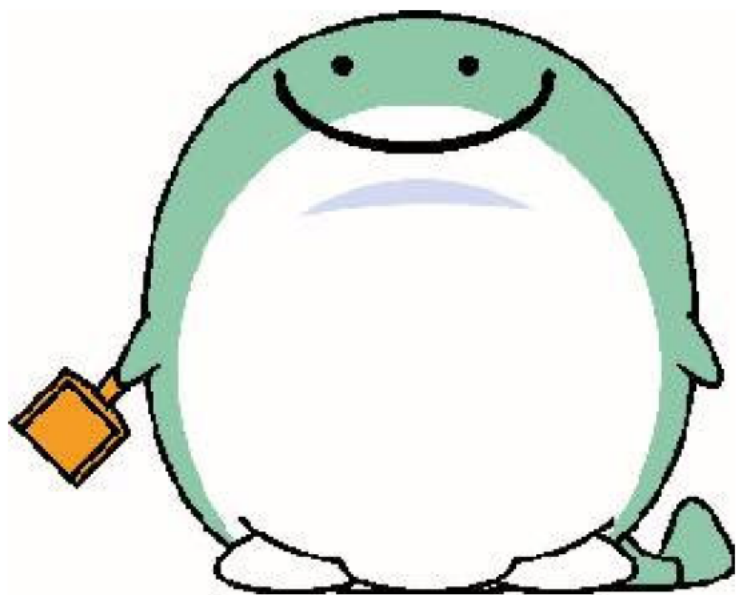
ごみはきちんと分別し、資源として有効利用しよう！



取組1:ごみはきちんと分別すれば、資源としてリサイクルされます。

取組2:生ごみを集めて堆肥を作っている事業者や団体があります。

## 三重県ごみゼロキャラクター「ゼロ吉」



僕は、三重の豊かな森から生まれた森の妖精。

人間で言うと小学4年生くらいかな。  
僕が大人になった時も

自然豊かな三重県であって欲しいから、  
資源を大切に暮らしをしているよ。

今は、ちょっと太めな体だけど、  
大人になった頃には、  
ダイエットしてスリムになるぞ～。

**みんなの力で、  
ごみを減らしてほしいゼロ！**

